

民俗芸能伝承に係る取組状況

(ふりがな) 民俗芸能名	(はくじゃひめまい) 白蛇姫舞		
保存団体名	鹿追町白蛇姫舞保存会		
保存会員数の推移 (うち小・中・高生)	H20. 10	H25. 10	H30. 10
	人 (人)	46人 (0人)	35人 (0人)
子どもたちに対する伝承活動の内容 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>これまでの経過 取組内容 取組体制 学校との連携 保護者との連携 指導方法 指導会場 指導頻度 などを記入</p> </div>	<p>平成 18 年、子供白蛇設立 子どもによる白蛇姫舞の披露(町民文化祭芸能発表・鹿追小学校学習発表会等)。 保存会に直接子どもが加入する体制ではない。練習・発表の参加は年間 14～30 名くらい。 会員募集のチラシ配布等に小学校の協力をいただいている。 保護者には練習会場への送り迎えを行なってもらっている(練習時間が午後 7 時～8 時のため)。 練習会場は鹿追小学校体育館にて、18 時 30 分～20 時まで指導。白蛇の持ち方、走り方、技、姫の舞、太鼓や笛の演奏方法等。 毎年、9 月から週に 2 回ずつ練習を行い、11 月中旬に発表して活動を終える。</p>		
伝承活動を継続する上での工夫	<p>上記保存会とは必ずしも活動をともにせず、子ども白蛇として地元中央校(小学校)の協力の下、演舞のイベント(当該小学校学習発表会、町民文化祭)を決めてメンバー募集を行なっている。 上記のように、約 2 ヶ月の活動で子ども、指導者とも年間を通じて拘束されないようにしている。 また、保存会メンバーとの親睦会(帯広市での食事会とレクリエーション)も行い、集まりが「楽しい」と感じてもらえる取組みをしている。 白蛇を練習、披露と体験することで、大人になってから何割かの子どもが保存会に参加してくれるよう、期待している。</p>		

<p>伝承活動を継続する上での課題</p>	<p>指導の担当者の負担(自分の会の活動に加えて、教える日程をとらなければならないこと等) 会員数の増員。</p>
<p>発表機会 ※年間の発表回数と発表会場を記入 (過去3年分)</p>	<p>H27年 3回 鹿追神社秋季例大祭・鹿追小学校・鹿追町民ホール H28年 3回 鹿追神社秋季例大祭・鹿追小学校・鹿追町民ホール H29年 4回 鹿追神社秋季例大祭・鹿追小学校・鹿追町民ホール 帯広畜産大学</p>